



# 広島土砂災害39人死亡

## 未明の豪雨土

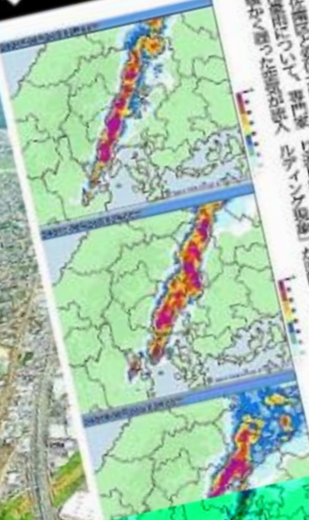
### 安佐南・安佐北7



広島県安佐南町と安佐北町で20日未明に記録的な豪雨が降った。土砂災害が発生し、39人が死亡した。死者は広島県史上最多となった。土砂災害警戒区域で発生した。死者は広島県史上最多となった。土砂災害警戒区域で発生した。

# 積乱雲次々に発生

## 広島土砂



広島県で20日未明に記録的な豪雨が降った。土砂災害が発生し、39人が死亡した。死者は広島県史上最多となった。土砂災害警戒区域で発生した。

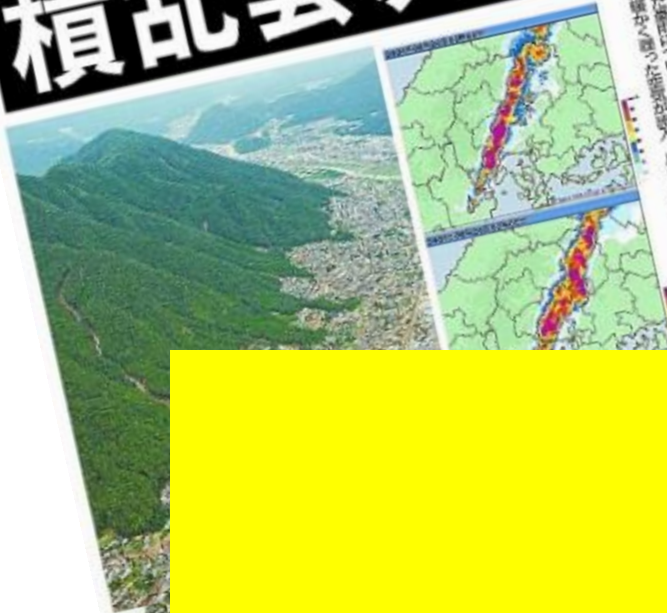


山形二面がある住宅地に土石流が流れ込んだ広島市安佐南区八木地区周辺=20日午後2時30分 (撮影・天島智則)

広島市で記録的な豪雨となった。20日午前1時から3時の豪雨。レーダー画像、南西から北東に延びる雨雲の雨域が広島市付近にかかっている。(気象庁提供)

Advertisement for a product, featuring a green and pink background with a mountain landscape and text including '30ミリ' and '1時間1'.

# 積乱雲次々に発生



## 広島土砂災害

バックビル、  
3時間雨量

広島市安佐南地区で発生した土砂災害の状況を示す写真と、その周辺の地形図。写真には土砂が崩壊した様子が見え、地形図には降雨の分布が示されている。

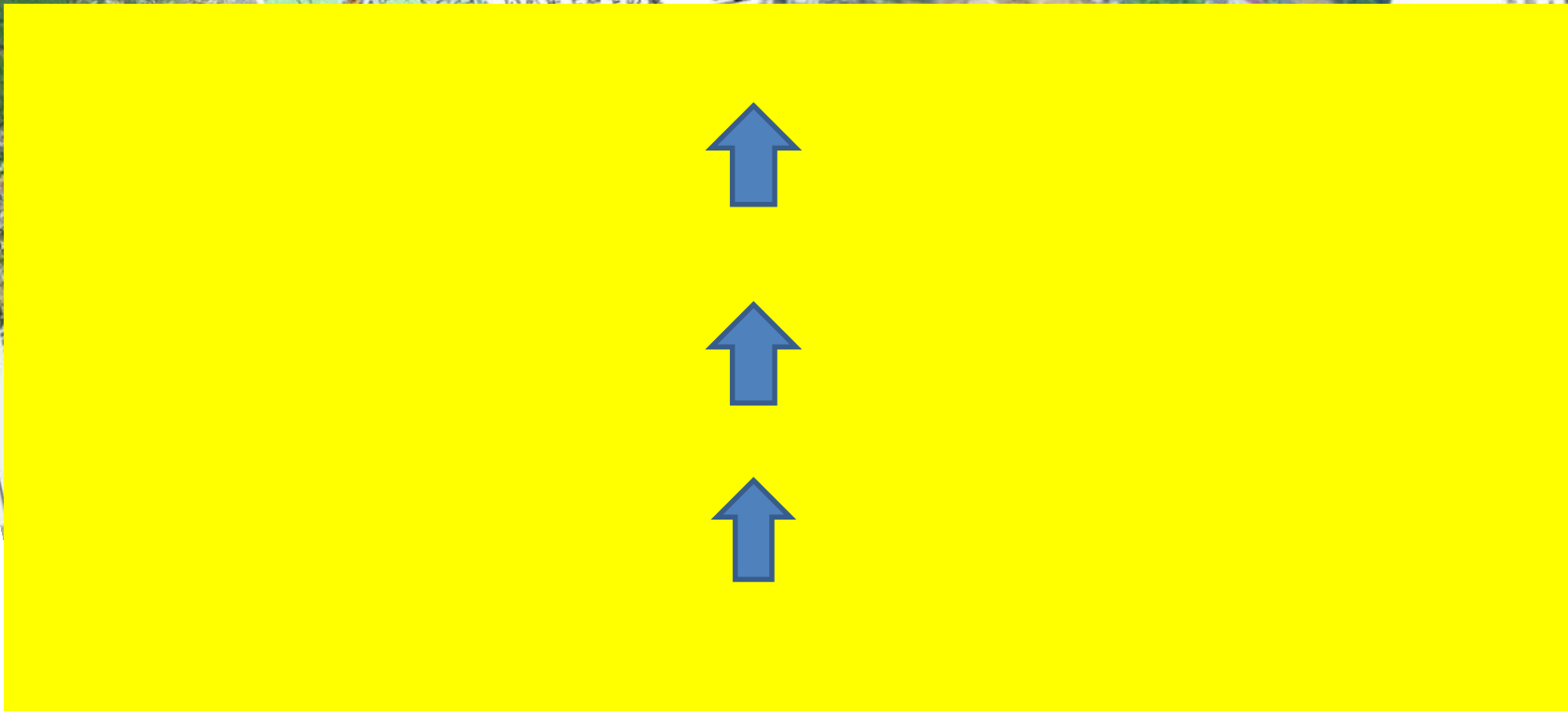
# 広島土砂災害39人死亡



## 未明の豪雨土石流 安佐南・安佐北7人不明

1時間130ミリ

広島市安佐南地区で発生した土砂災害の状況を示す写真と、その周辺の地形図。写真には土砂が崩壊した様子が見え、地形図には降雨の分布が示されている。





# 防災対策で日々の暮らしに安心を 中国新聞社の防災サービス

広島市の防災行政無線をご自宅に音声でお届け

## 防災受信機サービス

防災受信機サービスは、中国新聞社が広島市と「防災情報等の提供に関する協定」を締結し、中国新聞グループのケーブルテレビ2社のシステムを利用して、広島市の防災行政無線の音声をご自宅にお届けするものです。

特長  
1

お部屋で聞けるから  
聞き取りやすい

特長  
2

音量を絞っていても  
緊急時は自動で最大に

特長  
3

乾電池併用で停電時は  
もちろん持ち出しもOK



平時

きめ細かい地域情報やニーズの提供

発信者 新たなコンテンツ販売・  
広告事業展開の可能性

受信者



地域住民 テレビ端末を通じた  
ハイパーローカル情報の入手

自治体

地域メディア  
新聞・放送

④地域メディアに  
よる情報登録

②Hybridcastによる  
エリア別情報配信



スマホ連携

行政情報の発信

行政情報

地域ニュース

⑤広告配信

- ・地域ニュース
- ・自治体広報誌
- ・地場企業、商店の広告  
(ハイパーローカル)

地場企業

地域商店

テレビ端末、サイトへの広域配信

二重送付(地域放送と  
テレビサイトへの配信)

広域送付

対象外は地域に限定し  
ハイパーローカル配信

地域に限定して配信  
(ハイパーローカル)

地域放送による広域配信

登録された放送時間枠の入手  
ハイパーローカル配信による情報入手

放送局、放送局、放送局

放送局、放送局、放送局



広告事業展開の可能性

自治体

地域メディア  
新聞・放送

④地域メディアによる情報登録

②Hybridcastによるエリア別情報配信

平時

行政情報の発信

行政情報  
地域ニュース

地場企業

地域商店

地域情報流通基盤

①効率的な情報収集とマルチデバイス配信

⑤広告配信

テレビ端末、サイネージへの広告出稿

自治体

効果的な情報伝達による避難行動促進

避難情報

災害情報

交通機関

運行情報

CMID

一括代行登録

③デジタルサイネージとの接続・表示

地域住民

避難所情報

災害時に氾濫する情報の整理

⑥地域住民による情報提供



- ・整理された災害時情報
- ・避難行動の助けになる

地域住民からの情報提供による被災地の詳細把握





## 災害時において、地域住民からは、どのような情報が知りたいですか？（複数可）

評価・考察



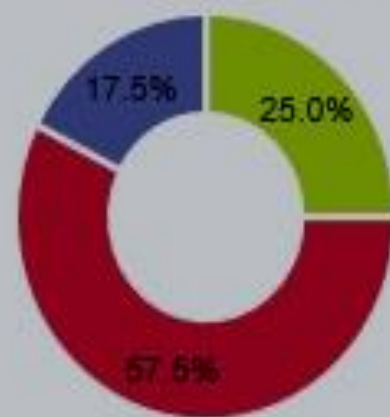
地域住民からの自発的な情報発信の内容として、「道路の状況」や「近くの避難所の避難状況」等、報道機関からの詳細な情報発信が難しい分野への期待値が高かった。

## 個人によって発信された情報は、信頼性や、正確性が不十分な場合があることについてどのようにお考えですか？

評価・考察

信頼性、正確性が不十分な場合に

なっている情報のみ知りたい



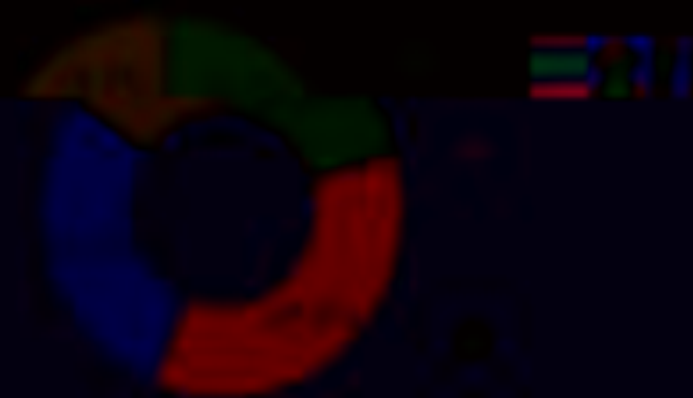
■ ある程度の正確性が明確になってきた時点でできるだけ多くの情報を知りたい

■ 不明確な情報でも早急に知りたい

災害時には約80%のモニターが何らかの信頼性担保を期待している。災害時という緊急事態における情報流通の運用ルールについては、別途検討が必要。

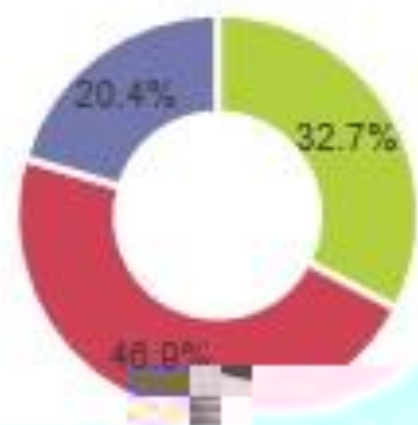


個人による情報発信について、その信頼性、正確性を担保する方法として、どのような方法があると思われますか？



## どのような情報が発信できると思いますか？

評価・考察



- テキストなら発信する
- 写真なら発信する
- 動画なら発信する

モニターごとによって区々だが、テキストや写真等の何かしらかの情報発信について、前向きな意見が寄せられた。

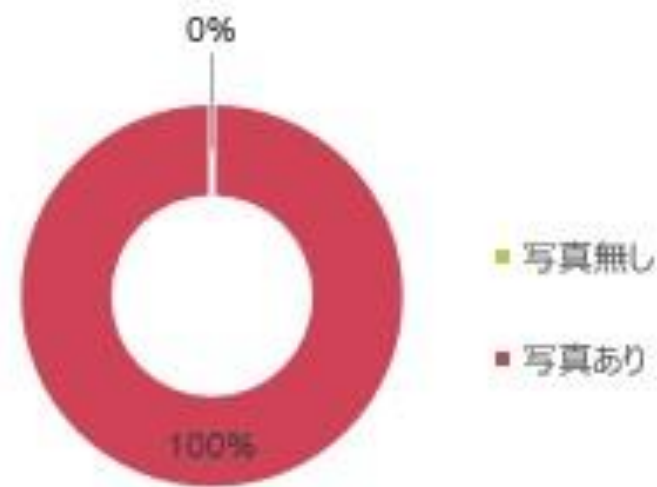
発信した情報について新聞社や放送局の報道に利用することについてどうお考えで



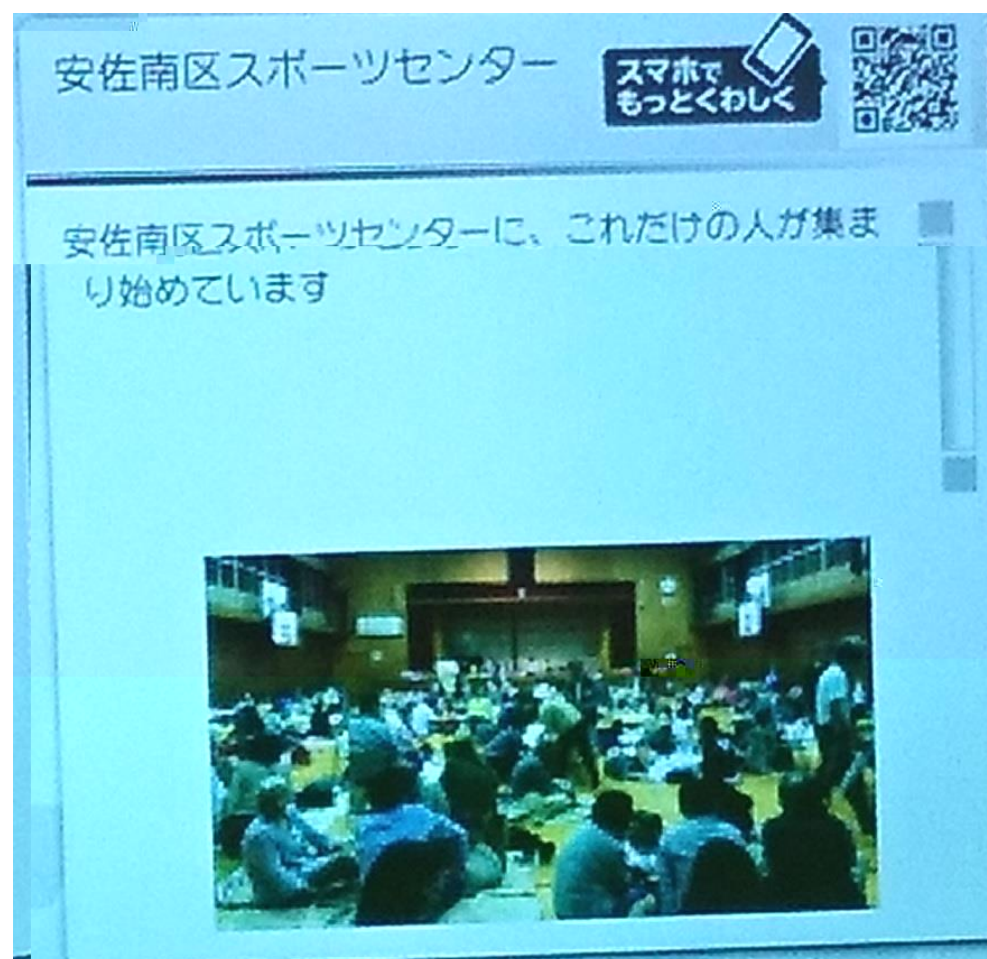


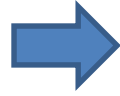
## 避難行動を促進するのはどちらの画面だと思いますか？

評価・考察



静止画による災害状況の報道は、避難行動の促進に効果的であるとモニター全員が回答した。





.